

Christmas in Church

毎年めぐってくるクリスマス
今年は教会で心あたたまる
時をお過ごしください



12/22
(日)

10:30~12:00 **クリスマス礼拝**

クリスマスの朝、静かに礼拝をささげます。

13:30~15:00 **燭火礼拝** (キャンドル・ライト・サービス)

午後はロウソクの光の中、受胎告知から始まるクリスマスストーリーを聖書から追っていきましょう。

24
(火)

19:00~ **クリスマス・スペシャル・コンサート**

～クリスマスはチェロの調べと共に～

チェロとピアノが奏でるクリスマスの調べとメッセージをお楽しみください。

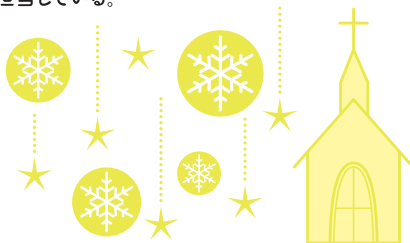


ベアンテ・ボーマン(チェロ)

スウェーデンのファルン市で生まれる。ストックホルム王立音楽大学で最優秀賞を授与され、グッデンブルグ市の国立歌劇場の首席チェロ奏者を務める。その後、ドイツの国立 Folkwang 芸術大学、フィンランドシベリウス・アカデミーで学ぶ。1980年より東京交響楽団で、首席チェロ奏者として活躍する。神学博士、全日本山岳写真協会会員。

ルリ子・ボーマン(ピアノ)

武蔵野音楽大学卒業後、ドイツの国立 Folkwang 芸術大学で学び、帰国後、ベアンテ氏と結婚。夫君の伝道コンサートでの伴奏や通訳を担当している。



讃美歌誕生秘話

「もろびとこぞりて」

日本でもよく歌われるクリスマスの讃美歌に「もろびとこぞりて」があります。これは、ヘンデルの「メサイヤ」のある箇所ヒントを得て作曲されたといわれています。

作詞をしたドッドリッジは、孤児になりましたが、父母の信仰を受け継ぎ、英国で教会の牧師となり、熱心にその務めに励みました。そして、400もの讃美歌を書いたのです。その一つ一つは信徒をキリストに導きたいという祈りを込めて語った説教の要約といわれています。

「もろびとこぞりて」の3節を、直訳で味わってみると、「主は、ブロークン・ハートに包帯をし、血を流している魂を癒される」となります。これは彼が大きな悩みの中にあるとき、イエス様がやさしい看護師のように心の傷を手当てして下さった経験を通して生まれた言葉だったのでしょうか。それだけでなく、深い悲しみに沈んでいる人を何とかして励ましたいという祈りながら書かれた言葉だったのかもしれませんが。日本語では美しく訳されている歌詞の背後には、このような人間の厳しい現実と神様の愛が隠されています。

・元旦礼拝のご案内 2014.1.1(水) 11:00 -

新しい年の始め、神様と共に礼拝しましょう。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

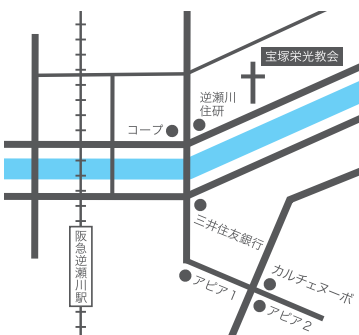
〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: iwama@takara-eiko.com http://www.takara-eiko.com

希望のダイヤル 0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。

わたしたちは統一教会、ものみの塔（エホバの証人）、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。

ポッドキャスト
始めました。
ホームページから
利用できます。



教会でデイサービス
を始めました。

デイサービス
オリーブの実

見学・体験利用受付中！
まずはお電話を!!

0797-73-6077

意外に冷え込みの厳しい今年の冬です



大きな喜びの知らせ

今からおおよそ2000年前の、世界で初めてのクリスマスは、決して華やかなものではありませんでした。臨月を迎えたマリヤは、どの宿屋も満室で泊まらなかったため、家畜小屋でイエス・キリストを産みました。赤ん坊のイエス様は、布にくるまれて粗末な飼い葉桶に寝かされました。なんと貧しいクリスマスの光景でしょうか。しかも、最初の祝い客は、名もない羊飼いたちでした。

クリスマス・ツリーもプレゼントもありません。しかし、そこには本当の喜びがありました。羊飼いたちがやってきたのは、その夜、野宿をしているときに、天使から知らせを聞いたからです。天使は彼らにこう言ったのです。「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。」(ルカ

の福音書2章10, 11節)

神のひとり子が貧しい家畜小屋で産声を上げられたニュースは、忘れ去られたような存在の羊飼いたちに真っ先に伝えられたのです。救い主の誕生は、「すべての民に与えられる大きな喜び」でした。イエス様は、立派な屋敷ではなく寒風の吹き込む、むさ苦しい家畜小屋で生まれました。豪華なベッドではなく粗末な飼い葉桶に布でくるまれて寝かされました。町の名士たちではなく無名の貧しい羊飼いたちの祝福の訪問を受けられました。だからこそ、すべての私たちのための救い主となられたのです。

私たちも、このクリスマスを心から喜んでお祝いしましょう。私のために、私を罪と滅びから救い出すために、神の栄光を捨てて、貧しいお姿になって降られたイエス様のご降誕を、共に喜びましょう。



「ツルウメモドキ」

今年も早や 十二月

さまざまなことが 目まぐるしく起きて 日が暮れていった

冬枯れの山に ツルウメモドキの 愛くるしい赤い実が 見える

春は 梅の木の葉にそっくりの 緑色の葉に おおわれていた
これがツルウメモドキかどうか わからなかった

新緑のころに 花が咲いた
淡緑色の小さな 目立たない 花だった

秋になると ツルが伸びたような枝になって
黄色い実が ついていた

冬 実の外側が 割れて
赤い あざやかな実が よく目立っていた

色目のない冬に 赤い色に身を包んだ
ツルウメモドキの実ほ ほんのり 甘みがあるらしい
鳥や 野山の小動物の 食糧だ

自然の営みは すばらしい
こんな小さな植物の前に 圧倒されて 立ち止まる
顔を上げて ツルウメモドキを ただ眺めている

神よ わたしの心は確かです
わたしは賛美の歌を うたいます
わたしの誉れよ 目覚めよ 豎琴よ 琴よ
わたしは曙を 呼び覚まそう
主よ 諸国の民の中で わたしはあなたに感謝し
国々の中で ほめ歌をうたいます
あなたの慈しみは大きく 天に満ち
あなたのまことは大きく 雲を覆います

（聖書）